

静岡県の新ビジョン

富国有徳の美しい“ふじのくに”の
人づくり・富づくり

後期アクションプラン

令和5年度 評価の概要
令和6年2月



後期アクションプランの評価



新ビジョン 後期アクションプランの政策体系

「新ビジョン 後期アクションプラン」では、**5つの基本方向**のもと**12の政策**を掲げ、多様な主体や地域間の連携を図りながら総合的に政策を推進している。

基本方向

<基本方向1>
安全・安心な地域づくり

<基本方向2>
持続的な発展に向けた新たな挑戦

<基本方向3>
未来を担う有徳の人づくり

<基本方向4>
豊かな暮らしの実現

<基本方向5>
魅力の発進と交流の拡大

12の政策

政策1 命を守る安全な地域づくり
(新たなリスクへの備えの強化)
政策2 安心して暮らせる医療・福祉の充実

政策3 デジタル社会の形成
政策4 環境と経済が両立した社会の形成

政策5 子どもが健やかに学び育つ社会の形成
政策6 “才徳兼備”の人づくり
政策7 誰もが活躍できる社会の実現

政策8 富をつくる産業の展開
政策9 多彩なライフスタイルの提案
政策10 地域の価値を高める交通ネットワークの充実

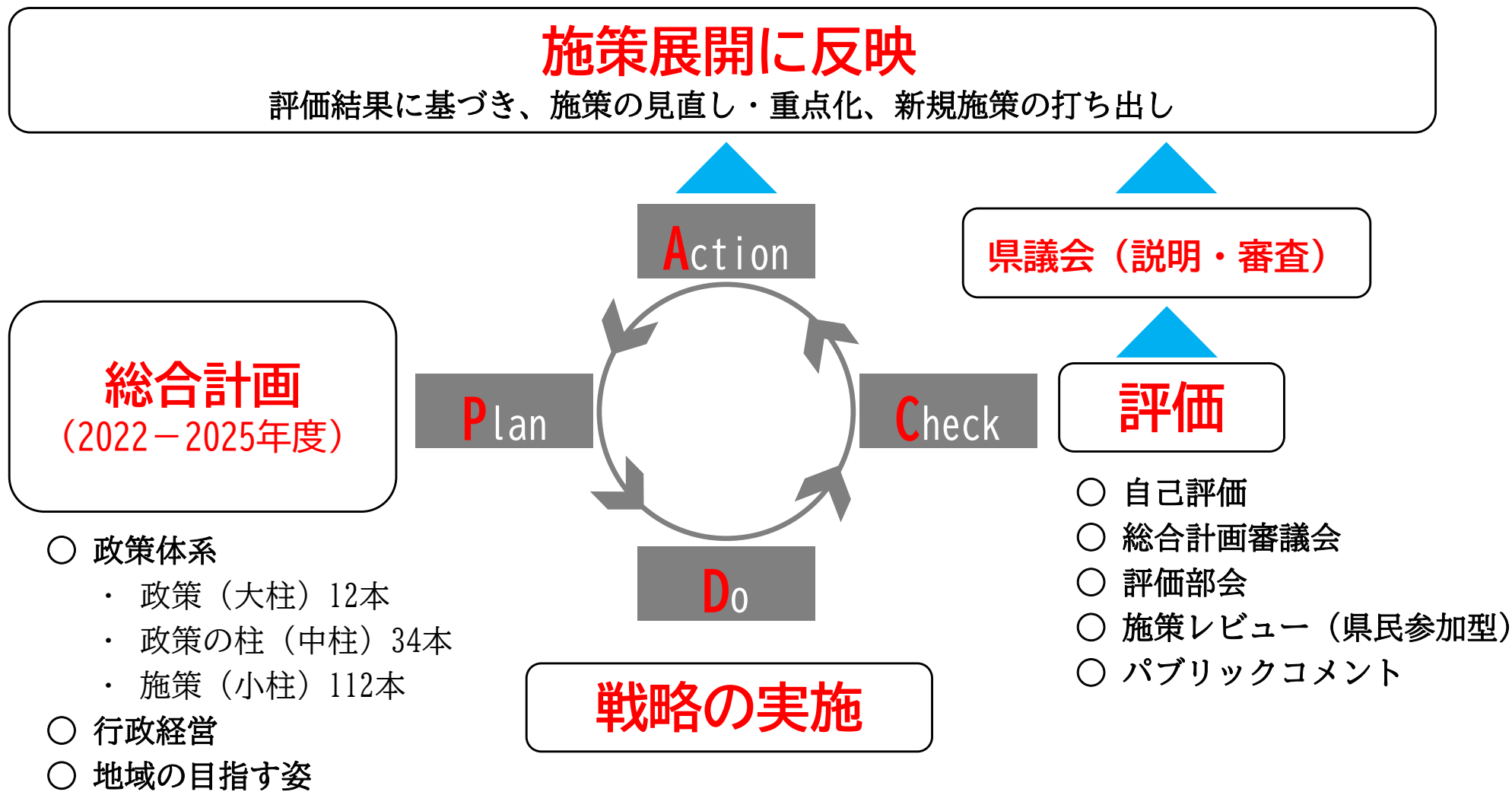
政策11 “ふじのくに”の魅力の向上と発信
政策12 世界の人々との交流の拡大

新ビジョン 後期アクションプランの評価

PDCAサイクルの流れ

施策展開に反映

評価結果に基づき、施策の見直し・重点化、新規施策の打ち出し



新ビジョン 後期アクションプランの評価

スケジュール

時期	総合計画の評価	総合戦略の評価
R5 . 6月	自己評価	
7月		
8月		県民会議（第1回） ※意見を総合計画評価に反映
9月	評価部会	
10月	総合計画審議会	
11月	パブリックコメント	
12月	12月議会	
R6 . 2月	評価書 公表	県民会議（第2回）※書面

新ビジョン 後期アクションプランの評価

令和5年度の評価方針

1 指標の評価

アウトカム指標である「成果指標」とアウトプット指標である「活動指標」について、次の評価区分により評価を実施した。

成果指標 区分	判断基準
目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
A	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
B	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
C	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

活動指標 区分	判断基準
◎	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超えのもの
○	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
●	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

2 今後の取組方針の明示

アウトカム指標である成果指標について、課題の要因分析を行い、課題解決に向けた今後の取組方針を明示した。

3 指標の見直し

目標達成による上方修正や国の方針との整合を図るための見直し等を行った。

指標の評価

評価結果

	成果指標							活動指標				
	目標値 以上	A	B	C	基準値 以下	—	計	◎	○	●	—	計
基本方向1	8	1	13	4	6	4	36	46	55	29	3	133
基本方向2	2	3	3	2	4	7	21	17	27	14	4	62
基本方向3	8	3	8	6	8	2	35	26	31	23	1	81
基本方向4	5	8	13	6	4	8	44	40	42	16	1	99
基本方向5	5	2	1	2	7	0	17	11	14	13	0	38
合計	28	17	38	20	29	21	153	140	169	95	9	413
	62.9%							76.5%				
コロナ影響指標	1	2	4	7	7	1	22	11	13	19	0	43
合計 (コロナ影響指標除く)	27	15	34	13	22	20	131	129	156	76	9	370
	68.5%							78.9%				

今後の取組方針

基本方向1:安全・安心な地域づくり

- ✓感染症の発生・まん延防止に向け、ICTを活用した**情報プラットフォームの構築により、業務効率化や情報発信機能を強化**
- ✓河川改修や雨水貯留浸透施設の整備など、**浸水被害軽減対策を推進**
- ✓医学修学研修資金の活用や看護師の再就業支援等により、**県内医師、看護師の確保・定着を推進**
- ✓介護職員不足解消に向け、**外国人材の確保・定着を支援する拠点の整備や業務改善の優良事例周知により人材を確保**
- ✓P D C Aサイクルに基づく**交通指導取締りの推進及び「しずおか・自転車事故防止3つの柱+1(プラスワン)」の定着**



浸水被害を軽減させる
沼川新放水路の整備(沼津市)



しずおか・自転車事故防止
3つの柱+1(プラスワン)ポスター

今後の取組方針

基本方向2:持続的な発展に向けた新たな挑戦

- ✓地産エネルギーの導入事例集や助成金を活用し、**事業者の計画策定から導入までの支援を強化**
- ✓森林分野でのJ-クレジット制度の活用促進のため、県営林における**クレジットの発行・販売のノウハウを普及**
- ✓SNSを活用したごみ排出抑制のキャンペーン等により**家庭の食品ロス削減**など生活に身近な取組を促進
- ✓「静岡県生成AI利用ガイドライン」に基づき、**飛躍的な発展が進む生成AIを積極的に活用し、業務効率化及び行政サービスを向上**



地域材を活用した
木質バイオマス発電所(小山町)



食品ロス削減キャンペーン

今後の取組方針

基本方向3:未来を担う有徳の人づくり

- ✓ 幼児教育アドバイザー等の資質向上のため、**県の幼児教育サポートチームと市町等が協働で訪問支援**を実施
- ✓ コーディネーターによる**企業とのマッチング支援**や**ジョブコーチによる職場定着支援**などにより**障害者雇用を促進**
- ✓ 多文化共生の場づくりのため、**地域日本語教育ネットワークの構築**や**教室運営に携わる人材養成を推進**
- ✓ 国際社会で活躍できる人材を育成するため、**探究学習を特色とする国際バカロレア教育の導入を目指す「静岡県立ふじのくに国際高等学校」を開校**



幼稚園における幼児教育の様子



地域日本語教室における「やさしい日本語」の普及

今後の取組方針

基本方向4:豊かな暮らしの実現

- ✓ デジタルものづくりセンターを開設し、**次世代自動車向けの新たな製品開発に取り組む企業への支援を強化**
- ✓ TECH BEAT Shizuokaによるマッチング支援の強化により、**スタートアップと県内企業との協業を促進**
- ✓ 中小企業者の業績回復等のため、**新事業展開や現場の経営改善活動を指導するリーダー養成を支援**
- ✓ 農産物の生産性向上のため、**スマート農機等の現場実装や環境制御システム等のデータ利活用を促進**



「ジェスチャ入力イメージ」
(株)メタテクノ提供)



スタートアップと県内企業のマッチング
を行うTECH BEAT Shizuoka

今後の取組方針

基本方向5: 魅力の発信と交流の拡大

- ✓ スポーツコミッションShizuokaを中核に、地域資源を活用した**スポーツ交流やスポーツ大会・合宿の誘致によるスポーツの聖地づくりを推進**
- ✓ 南アルプスを未来に継承するため、科学的知見に基づく**環境保全と利活用を両立した「南アルプスモデル」を構築**
- ✓ 海外高度人材と県内企業との就職面接会の実施等により、**人手不足の影響を受ける県内企業を支援**
- ✓ 富士山の世界文化遺産登録10周年を契機に、**10周年記念イベントや企画展等を開催し、富士山の価値や魅力の発信を強化**



南アルプスの環境保全(防鹿柵の設置)



富士山世界遺産登録10周年
記念国際シンポジウム

今後の取組方針

東アジア文化都市2023静岡県

中韓の選定都市との文化交流をはじめ、**本県独自の文化芸術、スポーツ、食、ファッション、温泉、旅、花・庭、多文化共生などの事業を年間を通じ全県下で幅広く展開。**

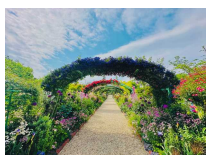
R 5. 2月	R 5. 5月	R 5. 6月	R 5. 9月～11月（コア期間）
東アジア文化都市宣言 （富士山の日フェスタ2023）	SPAC特別公演 「天守物語」 （春の式典）	パラスポーツ推進コンソーシアム 準備会発足記念シンポジウム	・静岡国際オペラコンクール ・伊豆文学祭（伊豆文学フォーラム）等

浜名湖花博2024

人・自然・テクノロジーの架け橋 ～レイクハマナ デジタル田園都市～
花と緑のすばらしさを実感できる**花の修景**や**デジタル技術を活用した展示**など、**花と緑とテクノロジー**が織りなす心豊かな理想空間を創出し、「デジタル田園都市構想」のロールモデルを提示。



浜名湖ガーデンパーク



「花の美術館」



はままつフラワーパーク



イメージキャラクター「のたね」



黄金KAIDOプロジェクト

中央日本四県が連携し、**エリア内を縦断する高速道路やフェリーを活用した広域周遊の促進**や、**徳川家にゆかりのあるスポットを巡るイベントの実施**などにより、**同エリアの観光誘客を一体的に促進。**



「黄金KAIDO」とは、**四県の金山を結ぶ陸路と海路のルート。**

佐渡金山(新潟県)、金鶏金山(長野県)、湯之奥金山(山梨県)、土肥金山(静岡県)

指標の見直し

国の目標見直しや最新の実績値が目標値以上となった指標等について、見直しを実施。

1 成果指標

政策	指標	基準値	現状値	目標値
7	障害者雇用率	(2021年度) 2.28%	(2022年度) 2.32%	(新) 2.7% (現) 2.4%

2 活動指標

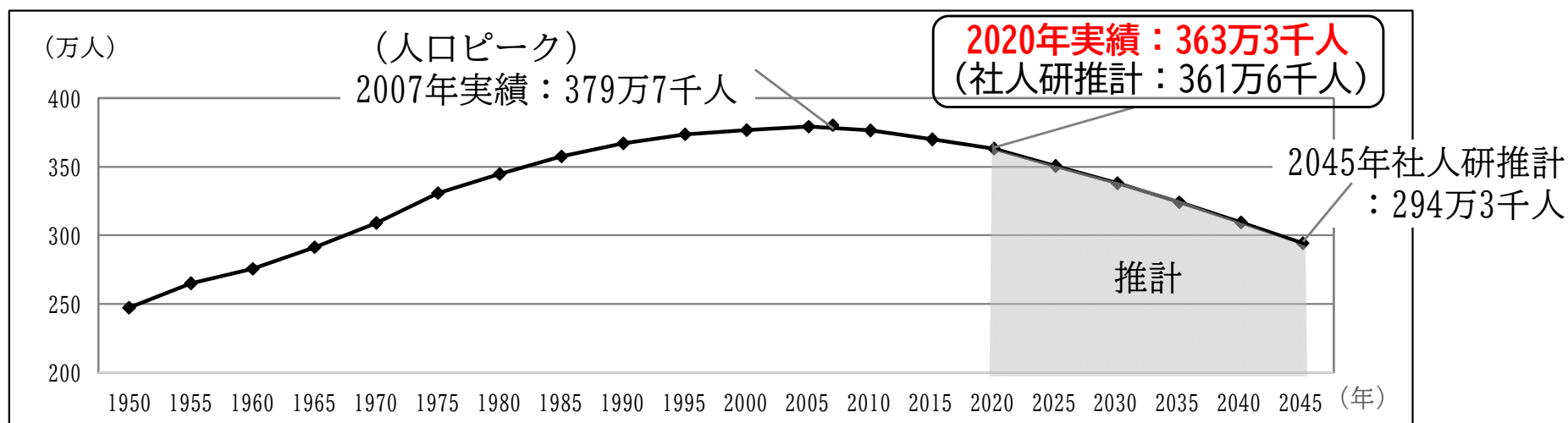
政策	指標	基準値	現状値	目標値
2	ふじのくに健康づくり推進事業 所数	(2020年度) 5,668事務所	(2022年度) 6,839事務所	(新) 9,000事務所 (現) 6,700事務所
4	ふじのくにCOOLチャレンジ 「クルポ」アクション数	(2020年度) 159,518回	(2022年度) 367,008回	(新) 1,200,000回 (現) 360,000回
5	認定こども園の設置数	(2020年度) 307箇所	(2022年度) 341箇所	(新) (2024年度)354箇所 (現) (2024年度)332箇所
11	しずおか未来の森サポーター企 業数	(2020年度まで) 累計 134社	(2022年度) 累計 148社	(新) 累計 160社 (現) 累計 144社
12	観光デジタル情報プラット フォーム登録情報数	(2020年度) 8,500件	(2022年度) 24,376件	(新) 30,000件 (現) 17,000件



本県の人口減少の現状

本県の人口減少の現状

本県の人口推移と将来推計人口



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

本県の人口動態

(単位：人)

区分	人口増減 (A+B)	社会増減 (A)	自然増減		出生数	死亡数
			転入	転出		
2015年	△15,487	△4,667	147,790	△152,457	29,078	△39,898
2016年	△13,754	△2,696	145,261	△147,957	28,423	△39,481
2017年	△13,850	496	149,766	△149,270	26,930	△41,276
2018年	△16,478	△234	151,977	△152,211	25,940	△42,184
2019年	△17,981	△5	152,862	△152,867	24,292	△42,268
2020年	△22,221	△3,059	140,541	△143,600	23,297	△42,459
2021年	△27,960	△6,940	133,111	△140,051	22,429	△43,449
2022年	△24,602	1,463	148,788	△147,325	21,285	△47,350

本県の重点課題に対する取組状況



足許の人口減少を踏まえた要因の分析

主な現状

①

- ・若者約6,000人の転出超過、女性比率が高い。
- ・静岡県に「やってみたい仕事がない」。
- ・新規大卒者の3年以内離職率は約3割。
- ・県内大学新規大卒者の県内就職率は約6割。

②

- ・移住者数は2,634人、8割以上が子育て世代。
- ・近年、テレワーク移住者が急増。
- ・移住者は移住前から静岡県に「好きな場所」等があるという関係性。

③

- ・子どもを持たない理由は「子育てにお金がかかり過ぎる」。
- ・女性は出産を機に約5割が離職。
- ・復職時は「仕事についていけるか」等が不安。

重点課題

- ◆若者・女性の雇用の受け皿づくり
- ◆県外離転職者等の県内就業の促進
- ◆県内新規大卒者等の県内就業を促進
→若者・女性の県内への就業の拡大

- ◆多様化する暮らしのニーズへの対応
- ◆移住につながる事前の「関係性」づくり
→若者・子育て世代の移住の拡大

- ◆出産・育児期の就業継続の促進
- ◆離職者の復職等の促進
→子育てと両立できる働き方の導入



重点課題に対する取組状況①

重点課題1：若者・女性の県内への就業の拡大

◆若者・女性の雇用の受け皿づくり

- ✓イノベーション拠点「SHIP」を活用し、**高度ICT人材の育成、交流促進、ビジネスマッチング**などを展開
- ✓企業進出に係る助成制度を創設し、若者・女性に人気のある**情報通信やデザイン等のサービス業の誘致**を強化

◆県外離転職者等の県内就業の促進

- ✓県外の若者を本県に呼び込むため、学生の取材による企業の情報誌を発行するなど、**学生目線での県内企業の魅力のPR**を強化

◆県内新規大卒者等の県内就業の促進

- ✓就職先決定前の大学1、2年生を対象とした、**企業理解を促進するためのキャリア教育プログラム**を構築



イノベーション拠点「SHIP」の会員による
異業種間交流会



進出したサービス企業のオフィス(焼津市)

重点課題に対する取組状況②

重点課題2：若者・子育て世代の移住の拡大

◆多様化する暮らしのニーズへの対応

- ✓県の魅力を生かしたワーケーション拡大に向け、**ワーケーションの受入を行う市町の支援のほか、Webサイトやイベントによるマッチングを促進**
- ✓東京圏の移住関心層に向け、**本県在住のテレワーカーとの交流会等を通じて、移住者の更なる増加を促進**



東京圏在住者と本県在住の
テレワーカーとの交流会

◆移住につながる事前の「関係性」づくり

- ✓移住予備群となる関係人口創出に向け、**フィールドワークの実施を通じた県外在住の学生との関係づくりを強化**
- ✓観光誘客拡大のため、地域連携DMO等と連携した**ガストロノミーツーリズム、感動体験ツーリズムの取組を強化**



ガストロノミーツーリズム
(つちや農園、川根本町)

重点課題に対する取組状況③

重点課題3：子育てと両立できる働き方の導入

◆出産・育児期の就業継続の促進

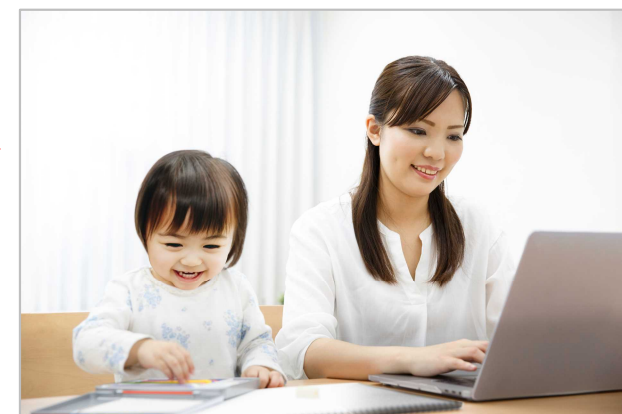
- ✓ 子育てサポート企業として認定される「くるみん認定」の取得促進に向け、**県内企業への巡回訪問支援を実施**
- ✓ 女性活躍の推進のため、「女性役職者育成セミナー」や「女性活躍加速化フォーラム」等を通じて**経営者の意識改革を促進**

◆離職者の復職等の促進

- ✓ 時間や場所に縛られない「新しい働き方」である**クラウドワークの普及啓発を図るとともに、ワーカーのスキルアップや受注支援を実施**
- ✓ 保育所及び放課後児童クラブの待機児童を解消するため、**保育士や放課後児童クラブ支援員の人材を確保**



「くるみん」認証マーク



クラウドワークサービスでの勤務の様子